

平成 27 年 11 月 27 日

議 員 各 位

盛岡市議会議長 菊 田 隆

請願の措置状況報告について

このことについて、平成 27 年 10 月定例会において採択した次の請願の措置状況報告が、別添のとおりありましたのでお知らせいたします。

記

1 請 願 名

- (1) 盛岡市動物愛護センター設立に関する請願
- (2) 私学教育を充実・発展させるための請願
- (3) 子どもの医療費助成制度拡充を求める請願

請願名：盛岡市動物愛護センター設立に関する請願（保健福祉部）

請 願 事 項	左 に 対 す る 措 置 状 況
<p>盛岡市保健所に保護された動物たちを適切に保管するとともに、動物愛護と適正飼養の普及啓発の拠点施設として、盛岡市立動物愛護センターの設立を求めます。</p>	<p>動物愛護センターにつきましては、現在は宮崎市など他市の情報を収集するなど研究を続けているところでありますが、市民や動物愛護団体等の御意見もいただきながら、施設の在り方を検討してまいります。</p> <p>なお、当市で保護した動物につきましては、保健所内に一時保管場所を設置するなど、出来る限り室温等の環境を整え、こまめに健康状態を確認するなどして、動物福祉に配慮した適切な飼養保管に努めているところであります。</p> <p style="text-align: right;">（保健所生活衛生課）</p>

# 採択請願の処理結果報告

教育委員会 学務教職員課

請 願 事 項	左 に 対 す る 処 理 状 況
<p>私学教育を充実・発展させるための請願</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 貴市内に設置されている私立高校に対して運営費補助を増額して下さい。</li> <li>2 貴市の住民で岩手県内の私立高校に在籍する生徒の保護者に対して、就学援助金を給付して下さい。</li> <li>3 国及び県に対して、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを求める意見書を提出して下さい。</li> </ol>	<p>盛岡市では、これまでも私立高校に対し、非常に厳しい財政状況下ではありますが、運営費補助金を交付し、保護者の負担軽減を図ってきております。また、岩手県では、「私立高等学校等授業料等減免事業補助金交付要綱」及び「私立高等学校生徒等奨学給付金給付要綱」に基づき、私立高校に在籍する生徒の世帯のうち、経済的な理由で就学が困難な世帯等に対して、就学援助を行っておりますことから、市独自の更なる制度の創設は、きわめて困難であると考えておりますので、御理解をいただきたいと存じます。</p> <p>なお、私学助成の充実につきましては、これまでも岩手県市町村教育委員会協議会、全国市町村教育委員会連合会を通し、国、県に対して、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実するよう要望してきておりますが、今後とも、機会を捉えて要望してまいりたいと存じます。</p>

請願名：子どもの医療費助成制度拡充を求める請願（市民部）

請 願 事 項	左 に 対 す る 措 置 状 況
<p>1 中学校卒業までの医療費は、一部負担をなくし全額を助成すること。</p>	<p>中学校卒業までの医療費助成につきましては、平成 28 年度から実施する小学生の通院までの拡充による実績を見極めながら所要額を精査し、財源確保の努力をしたうえで平成 29 年度以降のできるだけ早期の実現を目指してまいりたいと存じます。</p> <p>なお、子ども医療費の全額無料化につきましては、中学生までの医療助成拡充を優先的に進めることとし、その後の検討課題とさせていただきたいと存じます。</p>
<p>2 医療費助成制度はすべて現物給付方式にするよう岩手県に強く要請すること。</p>	<p>医療費助成に係る現物給付方式の導入につきましては、県と県内市町村が協議し、「乳幼児」、「重度心身障がい児」及び「ひとり親家庭」の未就学児童並びに「妊産婦」を対象として、平成 28 年 8 月を目処に実施することといたしました。</p> <p>また、現物給付方式の導入に際し、市町村が国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置を受けることから、県は小学生の入院医療費に補助を行い、市町村の負担軽減を図ることとしております。</p> <p>国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置の廃止につきましては、全国市長会、中核市市長会、県市長会を通じて引き続き要望するとともに、子ども医療費助成制度をすべて現物給付方式にすることにつきましては、県内市町村と連携を図りながら、県に要請してまいりたいと存じます。</p>